

平成31年度 租税教育事業実績報告書

委嘱校名	日南市立 油津中学校
所在地	〒887-0017 電話番号 0987-23-1149 日南市梅ヶ浜2丁目2-1
ふりがな 校長名	おおさわ ゆみこ 大澤 由美子
ふりがな 担当教諭名	とみなが ともひこ 富永 智彦
<p>1 租税教育の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 税理士の講師を招くことで全校生徒が税の制度や仕組みについて理解することができた。 ○ 市民生活部税務課から講師を招いて全校生徒対象に税金の種類や使い道、徴収方法等の講義を受け、さらにテキストや動画を使用したことで、関心や理解が深まった。 ○ 租税教育をキャリア教育に位置付け、総合的な学習の時間と関連させ、レポート発表やステージ発表に発展させることができた。 ○ 教職員対象の研修を実施したことで、生徒のみならず学校全体で租税に取り組むことができた。 <p>2. 租税教育についての反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 租税の委嘱を受けたが全体的に、日常的な環境整備が不十分だった。 ○ 今年度は外部講師の講話を全学年で行ったが、学年を限定することで、成長過程に応じたより専門的な講話が実現し、租税に対する意識の高まりが期待できる。 <p>3 租税教育についての今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講話以外の教室開催について、担当者と検討していく必要がある。 ○ 図書司書や図書担当の職員と連携し、租税の関心を高める手立てを図るべきである。 ○ 租税教育を教育課程に位置付け、全職員の理解と協力体制を構築し、効果のある教育活動につなげていかなければならない。 	

租 税 教 育 事 業 実 績		
実施年月日	事 項	内 容
平成31年4月	年間計画の作成	○年間計画の協議と作成
平成31年4月19日	租税教育委嘱状交付	○日南税務署長が来校し、委嘱状の交付式を行う。
平成31年4月24日	年間計画作成、提出	○年間計画を作成し、提出する。
令和元年5月22日	校長・担当教諭会	○校長・担当教諭会に出席する。
令和元年7月17日	第1回租税教室	○中原義和税理士事務所より講師を招いて全校生徒を対象とした租税教室を実施した。 (講師：中原 義和 氏)
令和元年7月17日	租税作品募集	○夏休みの課題として、全校生徒を対象に作文を募集する。
令和元年8月 9日	職員研修	○日南税務署 個人課税部門より講師を招いて本校教職員を対象に研修を実施した。 (講師：日高 博之 氏)
令和元年8月26日	租税作品審査	○国語科を中心に、租税作文の校内審査を行う。
令和元年9月 4日	租税作品提出	○優秀作品(7編)を提出する。
令和元年9月13日	キャリア教育体験活動	○日南税務署体験活動を実施した。
令和元年10月24日	第2回租税教室	○日南市役所 市民生活部 税務課 市民税係より講師を招いて全校生徒を対象とした租税教室を実施した。 (講師：米衛 文章 氏)
令和元年11月17日	キャリア教育活動発表会	○総合的な学習の時間の取組であるキャリア教育活動に租税教育を融合させ、「税務署」について、探究活動の発表を実施した。
令和2年2月 3日	年間計画のまとめ 次年度の年間計画立案	○租税教育の成果・今後の課題等をまとめ、来年度の年間計画の立案を行う。
令和2年3月 9日	実施報告書の作成	○実施報告書を作成する。

1 本校の教育目標

「誠意をもって行動し、豊かに伸びようとする生徒の育成」

2 本校が租税教室を通して目指すもの

国民の生活と福祉の向上に必要な不可欠な財政及び租税の仕組みや意義、役割を正しく認識させるとともに、社会の一員として納税の義務と責任を果たそうとする態度を養う。

3 平成31年度（令和元年度）租税教育計画

租 税 教 育 実 施 計 画		
実 施 月	事 項	内 容
4月	年間計画の作成	・ 租税教育推進委員会の設置 ・ 年間計画の作成
5月	職員研修 校長・担当教諭会	・ 本校における租税教育の取組について ・ 校長・担当教諭会に出席
6月	第1回租税教室	・ 全校生徒を対象とした講話
7月	租税作品募集	・ 「租税についての作文」、「租税についての短歌」等の募集
8月	租税作品作成指導 教職員租税教室	・ 租税作品制作の指導・助言 ・ 教職員を対象とした講話
9月	税務署体験活動 (キャリア教育)	・ キャリア教育（総合）による探求活動
10月	第2回租税教室	・ 全校生徒を対象とした講話
11月	税務署体験活動 発表会	・ 9月の探求活動の発表 ・ 税に関する討論会
12月	社会科授業	・ 3年生を対象とした授業 ◯未実施
1月	今年度の反省及び 来年度の計画	・ 1年間の取組の反省を踏まえ来年度の計 画作成
2月	今年度の反省及び 来年度の計画	・ 1年間の取組の反省を踏まえ来年度の計 画作成
3月	実践報告書の作成	・ 実践報告書の作成と提出

4 平成31年度（令和元年度）租税教育の実際

(1) 第1回租税教室（7月17日（水）5校時）

全校生徒を対象に、6月に予定していた租税教室を7月に実施した。外部講師の中島義和税理士を招いて、「私たちの生活と税」のテキストを用いて租税制度や税の仕組み等について、講話を依頼した。

目的は次の通りである。

- 学校教育における租税教育の推進と充実に努め、税務署、関係機関との連携を深め、税金に対する興味・関心を高める。
- 講師の話聞いて、夏休みの租税作文の参考資料にする。

また、租税教室を実施するにあたって、税についての知識を得るため、簡単なクイズを作成した。

租税教室当日に放送委員が給食の放送で行った。クイズは全部で6題出題し、生徒が興味・関心をもつよう配慮した。



【給食時の放送の様子】

① 「租税クイズ」の一部抜粋

1 税には、視点の違いから「どこに納めるか」「何に対して課税するか」「納め方」の3通りの分類方法があります。

「どこに納めるか」による分類には2種類あります。1つは「地方税」です。もう1つは何という税でしょうか。次から選びなさい。

- ① こくぜい 国税 ② 政府税 (答え：①)

2 「何に対して課税するか」による分類には3種類あります。「所得課税」「資産課税」残り1つは何という税でしょうか。

次から選びなさい。

- ① ほうじんかぜい 法人課税 ② しょうひかぜい 消費課税 (答え：②)

5 今年度に国や地方が使う税金の総額はいくらでしょうか。次から選びなさい。

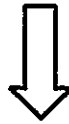
- ① 約70兆円 ② 約100兆円 ③ 約300兆円 (答え：②)

6 今年の10月から「消費税」率が今の8%から何%になりますか。
「どうぞ、」とアナウンスが流れたら大きな声で数字を言ってください。

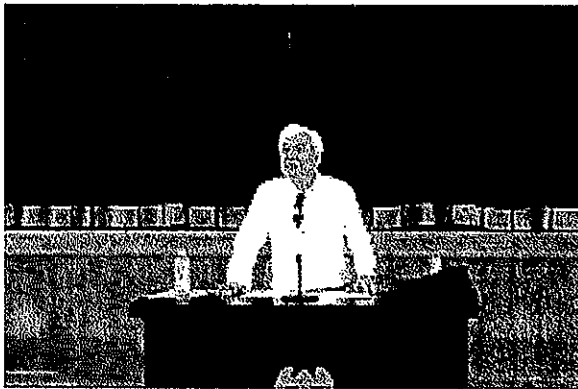
(答え：10)

以上でクイズは終わりです。全問正解した人は、かなり税の知識が豊富です。将来、税理士資格を取得することをおすすめします。税理士試験の合格率は約15%です。

最後に連絡です。5校時の租税教室には、筆記用具、ライフスケッチブック、配付資料を持って、体育館に移動してください。夏休みの宿題に租税作文があります。今日の講話をしっかりと聞いて、作文構成のヒントにしてください。



②講演の様子



講演開始！
お互い初対面ということで始めは緊張しておられました！

租税作文が夏休みの「宿題」と放送で伝えてあるので、真剣に聞き入っていました！



講師の中島義和氏は、本校の卒業生でもあり、後輩のために熱弁をふるっておられました！

お礼の言葉は、生徒会長がマイクも使用せず、「情熱」ある謝辞を述べました！

(2) 第2回租税教室 (10月24日 (木) 3校時)

10月24日、日南市役所市民生活部税務課より、米衛文章氏を講師に招いて、第2回租税教室を全校生徒対象に実施した。消費税が増税になったことから、「消費税について生徒は関心をもっている。消費税の歴史や使い道、税収入等について講話を依頼した。

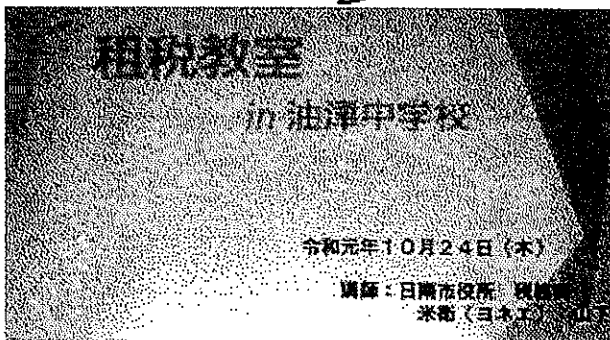
今回の目的は次の通りである。

- 「どうして消費税を増税したのだろうか。」
- 「何のために税金を払うのだろうか？」

また、DVD 資料「ご案内します アナザーワールドへ」を視聴することで、税金の意義について理解することができた。

プレゼンを作成して、生徒にわかりやすく、丁寧に説明していました！

講師の米衛氏は、体全体で表現して税金について語っていました！



消費税10%について、1度の買い物でいくら税金がかかるか？頭で計算中？

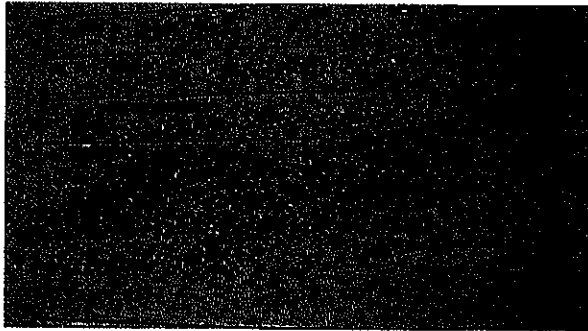
カメラ目線で「1億円の重さが今日の講話でわかりました！」…ねらいが違う！

(3) キャリア教育活動発表 (11月17日 (日))

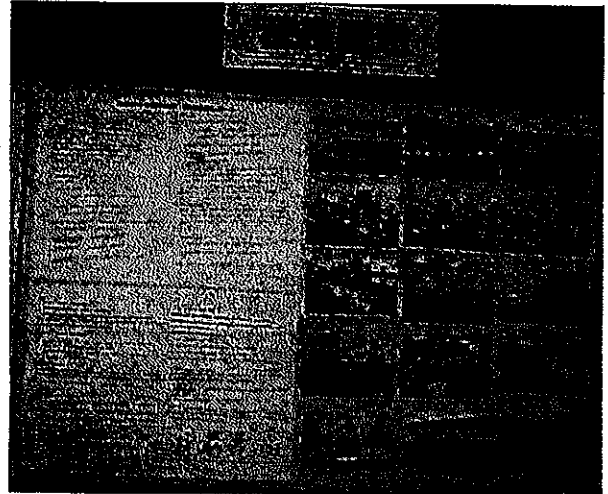
租税教育をキャリア教育活動と関連付けし、総合的な学習の時間でも2・3年生の9名が中心となって活動を行った。「税務署」の探究活動を行う上で、「税が社会に果たす役割は何だろう」という問いを設定し、解決に向けてインターネットで調べたり、税務署に体験活動を行いインタビュー調査や確定申告をパソコンで入力する実習等を行う発展学習を実施した。

この活動を通して、この班は、「日本の国家予算の内、約60兆円が、様々な税によってまかなわれている。私たちが、生活していくうえで絶対に必要なもので、税は、日本社会に大きな『貢献』をしていることがよくわかった。」とまとめた。

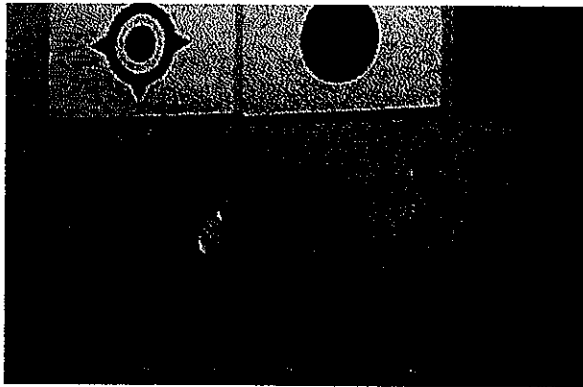
【レポートの一部を拡大】



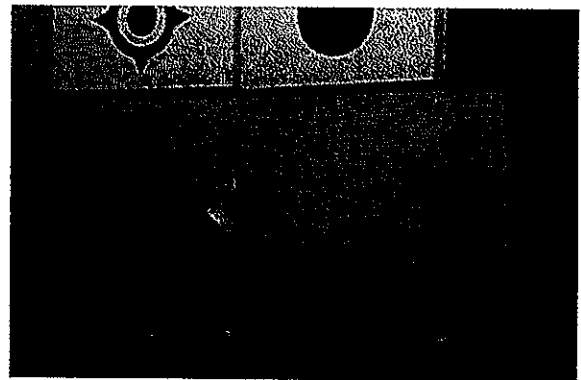
【レポートのまとめを体育館に掲示】



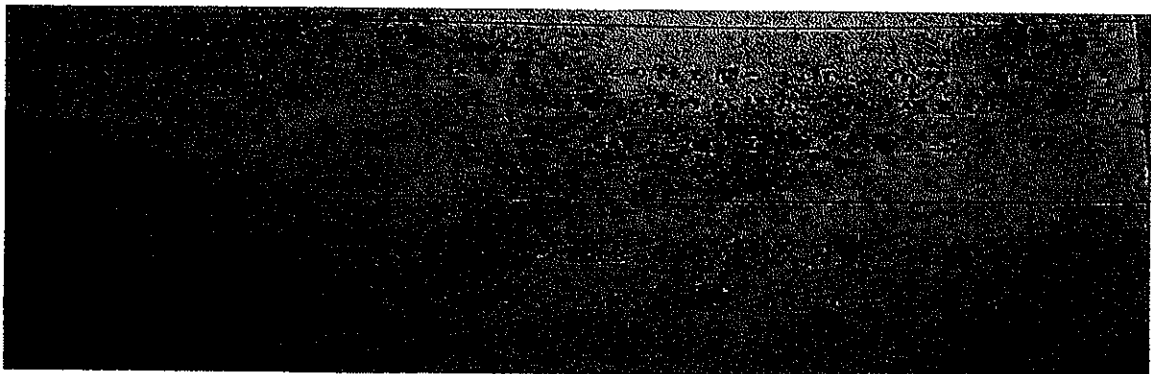
【ステージ発表】



【劇を通してメッセージ発信】



【活動後の感想】



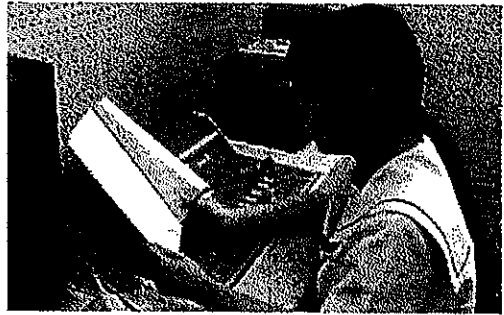
(4) 租税作文の応募

租税作文は夏休みの課題として全校生徒を対象に取り組みました。取組前に租税教室を実施して租税について意識高揚を図った。

また、前年度の租税入賞作文を、1週間給食時の放送時間に放送委員による朗読で紹介し、作文の書き方の手立てを行った。

8月下旬に国語科の先生方に審査を依頼して出品可能8作文を厳選した。

結果、5作文が入賞することができた。



【放送委員によるの作文朗読】

令和元年度「税についての作文」入賞一覧

宮崎県租税教育推進中央協議会	「銅賞」
3年女子	「税金の大切さ」



【表彰の様子：県「銅賞」】

日南串間地区租税教育推進協議会会長賞	「銀賞」
3年男子	「身近な税金」



【表彰の様子：地区「銀賞」】

日南串間地区租税教育推進協議会会長賞	「銅賞」
3年女子	「税の大切さ」
2年男子	「税の捉え方」
1年女子	「大切な税」



【表彰の様子：地区「銀賞」】



【表彰の様子：地区「銀賞」】

(5) 職員研修 (8月9日 (金))

夏季休業中に、日南税務署・個人課税部門より日高博之氏を講師に招き、教職員を対象にした租税研修を実施した。納税者の立場から税金についての講話と、仮定の収入を元に確定申告を行い、所得税の金額を算出する演習を行った。

実際に計算を行うと、様々な控除があり、給与金額と納税額の違いに驚く職員もおり、生徒を対象にした租税教室も大切だが、教職員を対象にした研修の重要性も認識できた。



【テキストを熟読する本校教職員】



【確定申告の説明の様子】

5 委嘱1年目を終えて

昨年5月に租税教育委嘱校の会議があり、前年度委嘱校の取組発表を聴き、不安を抱えて帰路についたのをはっきり覚えている。

租税教室については、第1回・第2回と、目的を明確にして生徒の実態に応じた開催ができたが、その後の手立てがなく税の意識をより高めることはできなかった。

総合的な学習の時間を利用したキャリア体験活動では「税務署」をテーマ租税教育に関連させて活動することができた。しかし、環境整備については計画のみとなってしまう課題を残したので、次年度は積極的に図書司書等と連携して活動していきたい。

充実した実践とはほど遠い1年間であったが、計画通りに実施することができたのも、事務局でもある日南税務署の芦荻氏の丁寧な指導・助言のお陰であり大変感謝している。

今年度の反省と課題を次年度の計画に位置づけし、より効果的な実践計画を作成するとともに、引き続きご指導・ご協力賜りたいと思います。